

令和8年度 技術・家庭科 家庭分野 第2学年

育成する資質・能力

- (1)生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
- (2)生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を養う。
- (3)よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

学期	学 習 到 達 目 標
1 学 期	<p>衣生活</p> <ul style="list-style-type: none"> ・衣服の社会生活上のはたらきを知ろう。 ・自分らしい着方を工夫しよう。 ・自分の衣服計画が立てられるようにしよう。 ・衣服の状態に応じた手入れの必要性がわかり、適切な手入れができるようにしよう。 ・取り扱い表示の意味を理解し、衣服の素材に適した手入れの方法を選択できるようにしよう。 ・衣服の素材に合った洗剤を選び、使用できるようにしよう。 ・アイロンがけや収納・保管を適切にできるようにしよう。 ・基礎縫いができるようにしよう。 ・ミシンを使って縫ってみよう。 ・布を用いて生活を豊かにするものを作ろう。
2 学 期	<p>消費生活</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物資とサービスの特徴を知ろう。 ・消費生活のしくみを知ろう。 ・収支のバランスをはかり、計画的に金銭管理をする必要性について考えよう。 ・店舗販売と無店舗販売の特徴を知ろう。売買契約についての問題発生の原因や予防方法について知ろう。 ・即時払い、前払い、後払いの特徴を知ろう。 ・生活情報の収集や活用のしかたを知り、目的に合った商品の選び方を考えよう。 ・消費者被害について理解し、予防の方法について知ろう。 ・消費者を支えるしくみについて知ろう。
3 学 期	<p>住生活</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住まいの基本的な役割について知ろう。 ・日本の伝統的な住まいの特徴を知ろう。 ・住まいの空間の使い方について知ろう。 ・住まい方の工夫衣について考えよう。 ・家庭内の事故の種類とその原因を知ろう。 ・幼児や高齢者の安全を考えた住まいについて考えよう。 ・地域のさまざまな災害に備えて、室内を安全に整備する必要性とその方法について知ろう。 ・持続可能な社会の実現に向けての工夫があることを知ろう。